

発表者 森永 進  
小学校4年 道徳・総合

活用番組  
「時々迷々」  
「道徳ドキュメント」

## 実践のタイトル

人を思いやり、情報社会に生きる力判断力を育成する放送番組の活用

育てようとする力  
思いやり 協調性  
責任感 共感的理解  
情報活用力 判断力  
課題解決力



「ポスターセッションを終えて手ごたえを感じた取り組み」  
短期間に育成する力のある程度絞りプロジェクト的構成で放送番組を活用することの可能性

番組の内容を活用する際に、見極めて複数活用する  
・「道徳ドキュメント」のもつ力を感じた。  
「道徳ドキュメント」とはタイトル通りのドキュメント形式である  
そのため、「現実」を知ることにより、子どもたちが切実に考える動機付けになった。  
・情報教育としての情報活用能力を「時々迷々」「道徳ドキュメント」で育成することができる。

情報活用の実践力としての判断力を育成することに絞り込み。  
この方向性で問題なく育成できると思われる。

「修正したり今後生かしたいと思ったこと」  
・意識の部分を多く問う実践なので、実践の評価の妥当性をどう持たせるか  
評価を伝えないとうまく実践が広がらないと思う。  
・情報教育の年間指導計画にこの実践を位置づける  
今回の実践を学年全体で年度内に行ってみます  
・NHKの方に言われたが、「情報教育をなぜに放送番組の活用をするのか？」の  
答えを出すこと

放送番組のよさ、手軽さ以外のこの放送番組ならではのうまく伝えていきたい  
・担任外の身なので今回のようなユニット的な構成での活用を今後もしていきたい

育成したい力を絞り込んで構成してみます。

「参加した感想」  
・制作者、実践者、研究者の方々に見てもらい、説明する、そして感想、質問を聞くことができる。自分の実践について見直し、再考、そして今後へのやる気をもらえる機会を得た。・ぜひ 平成20年度のように全国の場でもやりたいと思いました。